

生出小学校赤石分校に関する 地域懇談会ニュース

地域懇談会を開催しました

7月5日（日）に、今後の生出小学校赤石分校のあり方について話し合う地域懇談会を、地域や保護者の皆様41名の方々に出席いただき、開催しました。

地域懇談会では、教育委員会から教育環境の現状と子供たちを取り巻く環境について説明し、赤石分校の今後のあり方について意見交換を行いました。協議の結果、生出小学校赤石分校のあり方について一定の方向性が出ましたので、地域の皆様にお知らせします。



令和2年7月5日（日）10:00～11:00
会場：生出小学校赤石分校体育館

地域懇談会としての結論

「児童生徒の教育環境、通学支援を優先する必要がある」ことから、

令和3年3月を目途に、生出小学校赤石分校は閉校する

という結論に至りました。

これまでの経過

- ・平成27年 4月 生出小学校赤石分校は、児童数減少に伴い、在籍児童がいなくなったため、休校となりました。
- ・平成28年 2月 赤石地区の3町内会で「赤石分校の今後を考える会」が結成され、地域で今後のあり方について検討を開始しました。
- ・令和元年 8月・12月 「赤石分校の今後を考える会」と教育委員会で意見交換を行い、赤石分校の現状と今後のあり方について協議を重ねてきました。
- ・令和2年 2月 赤石地区の生出小在籍児童及び未就学児の保護者の皆様に交えた懇談会を開催しました。

1. 教育委員会からの説明

教育環境の現状と子供たちを取り巻く環境について、赤石地区の状況も含めて説明しました。

新しい学習指導要領に基づく学習について

平成29年に学校教育の指針となる学習指導要領が改訂となりました。「国際化社会に対応するための外国語教育の充実」「情報化社会に対応するためのプログラミング教育」「豊かな心を育成するための道徳の教科化」などを通して『生きる力』を育むことが要点となっています。

また、先生の話聞いて知識を得るだけでなく、友達との対話を取り入れ、自らの考えを整理し探求するような授業を目指し、児童の考えを広げ深めることを重視しています。

児童数の状況

○赤石分校区の児童数（令和2年6月）

（単位:人）

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計児童数 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 児童数 | 1 | 2 | — | — | 2 | — | 5 |

○児童数の推移

（単位:人）

| 年度 | 生出小 | 赤石分校 |
|-------|-----|------|
| 昭和58年 | 174 | 37 |
| 平成20年 | 71 | 7 |
| 令和元年 | 58 | - |

○生出小児童数（令和2年6月 赤石分校区児童含む）

（単位:人）

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計児童数 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 児童数 | 7 | 7 | 7 | 7 | 13 | 6 | 47 |

小規模校が抱える課題への対応について

集団での学び合いやかかわり合いの機会の少なさや、遠距離通学等の課題に対して、次のような対応をしています。

<統合>

学校独自の取組では解決が困難なほど少人数化が進んだ場合には、統合により、集団での学び合いができる学習環境を確保します。

<交流学习>

大勢の友達と学習したり遊んだりする機会作りを支援しています。生出小も向山小と米作りを通じた交流を行っています。

<通学支援>

学校を統合した場合、遠くの学校に通うこととなることが多いので、安全確保、体力・時間的な負担の軽減のためスクールバス(タクシー)による通学支援を行うこととしています。



2. 参加者の皆様からの主なご意見

休校となっている赤石分校の現状などを受け、赤石地区では、これまで「赤石分校の今後を考える会」の皆様を中心に様々な検討を重ねてられました。

地域懇談会では、赤石分校の今後のあり方について、改めて地域の皆様それぞれのお考えやご意見を伺いました。

□ご意見：閉校後も指定避難所を継続するということだが、赤石分校は、去年も2回ほど避難所を開設している。避難所開設時に、地域外に住む施設管理者などが鍵を開けに来る場合、道路寸断などですぐに来られない場合も考えられる。

■回答：指定避難所は閉校後も継続する方向です。避難所開設時の鍵の開け方については、避難所運営委員会の場で皆様と話し合っ取り決めてまいります。

□ご意見：閉校後の学校施設の維持管理、補修はどこが行うのか。校舎の清掃、校庭の草刈りなど費用を負担してもらえるのか。

■回答：閉校後の学校施設の維持管理、補修は教育委員会で行ってまいります。草刈り、清掃などについては、教育委員会で費用を負担し、業者委託により実施することになりますが、地域団体に委託することも可能です。

□ご意見：閉校後も赤石分校の施設開放を継続し、使いやすい施設にしてほしい。

■回答：校庭や体育館の施設開放は閉校後も継続し、現在と同様にご使用いただけます。

□ご意見：有害鳥獣駆除で捕獲したイノシシなどを保管するための冷凍庫を赤石分校に設置している。閉校後も冷凍庫の継続設置をお願いしたい。

■回答：冷凍庫は閉校後も継続設置するよう、設置場所等も含めて考えてまいります。

3. 「赤石分校の今後を考える会」からのご意見

□ご意見：赤石分校の今後を考えるにあたり、教育委員会には、地域要望を理解いただいている。子供たちは本校に問題なく通学できている。赤石分校への思いは胸に詰まるものがあるが、跡施設利活用、施設開放などをうまく運用して、赤石分校は発展的閉校としたい。

□ご意見：閉校の時期は令和3年3月、閉校式は令和3年5月頃に開催する。地域の皆様方にはご協力をお願いしたい。

4. 今後について

地域懇談会では全会一致で赤石分校の閉校についてご承認をいただくとともに、以下の内容を確認いたしました。

【主な協議の結果】

- (1) 赤石分校は、児童の教育環境、通学支援を優先に考え閉校し、学区は現在も赤石地区の児童が通学している生出小学校とすること。
- (2) 閉校に伴い赤石地区の児童生徒については、中学生も含めスクールタクシー等による生出小・中学校への通学支援を行うこと。
- (3) 閉校後の校舎等の利活用は、①指定避難所の継続、②仙台市による維持管理、③現在の学校施設開放と同等の地域での使用を継続すること。
- (4) 閉校時期は、令和3年3月31日、閉校式は5月頃とし、具体的な日程は今後調整すること。

地域懇談会終了後、赤石地区の地域の方々、生出小PTA、生出小教職員・元赤石分校教職員、教育委員会をメンバーとした閉校準備委員会が立ち上げられました。事務局、式典部、記念誌部、施設開放準備部を編成し、感謝の会の企画運営、閉校記念誌の発行や閉校記念DVDの作成、跡施設管理委員会の設立準備などを進めていく予定です。

また、今回の地域懇談会の結果を受け、今後、教育委員会・市議会において生出小学校赤石分校の閉校を正式に決定いたします。

地域の皆様、保護者の皆様には、生出小学校および閉校に向けた準備等に対しまして、これまで通りのご支援・ご協力をお願いいたします。

仙台市教育局 学校規模適正化推進室

住所：仙台市青葉区上杉一丁目5-12 上杉分庁舎11階

TEL：022 (214) 8432 FAX：022 (264) 4428 Mail：kyo019031@city.sendai.jp